



第117回洲本高校創立記念式典(2014. 5. 9)で、「未来の作り方」をテーマに
対談形式での講演終了後、在校生にとり囲まれる漫画家藤堂裕さん(中央左)
とアーティスト清川あさみさん(同右)

(二人は洲高50期の同期生) (於洲高体育馆)

ご挨拶



同窓會長

高津匡雄

高14期

写真に刺繡を施すなどで注目されています。又、藤堂裕さんは「由良COLORS」やテレビドラマ化された「S-1最後の警察官」の漫画を描いています。東京で活躍しているお二人

のご講演に生徒達は大いに興奮し、為になつたと思います。最後に、同窓生皆様のご協力、ご支援をお願いしますとともに、皆様方のますますのご発展をご祈念申し上げます。

兵庫県公立高等学校 新しい選抜制度

初通学区域上
複数志願選

全蜀王教頭

橋本祐里

洲本高校同窓会員の皆様には、つつがなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。又、平素より同窓会に対し、ご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

通うことが出来ます。現在もかなりの生徒が利用していますが、今後、ますます島外の高校に行くことが考えられます。今年が従来の学区の最後の年で、入試出願状況が気になりましたが、洲本高校を希望する生徒が他校より一番多くつたようでひとまず安心しました。洲本高校は初の試みとして、島内の他の4校と会同で5月24日に神戸市で説明会を開き、豊かな自然に囲まれた学習環境や神戸・阪神間

又、皆様もご存じのよう、来春より、兵庫県内の公立高校の学区が現行の16から5学区に大きく変わつて来ます。現在の中学校3年生から入試制度が変わつてくるのです。淡路島は神戸と芦屋と同じ学区になります。島内の生徒の希望高校が気になる所です。淡路交通の島内のバス路線の減少により、淡路市や南あわじ市の生徒は高速バスを利用すると明石大橋を渡つても一時間前後で明石や神戸の高校に

同説明会を開きました。洲本高校も色々と考えておりますが、洲本高校にやる気のある生徒が集まるよう同窓会としても出来るだけのことはしたいと思っています。又、東京支部の皆様には洲本高校未来探究東京ツアーワーでは大変お世話になつております。生徒達も感謝しております。

5月9日の洲本高校創立記念式に講師として、清川あさみさんと藤堂裕さんのお二人をお招きしてお話を伺いました。清川あさみさんはアートディレクションから造形作品の制作まで幅広く活躍され、

変わりますので、新しい制度について、説明いたします。

通学区域の見直しの趣旨は、生徒がそれぞれの個性や能力、興味・関心、進路希望等に応じ自己の可能性を最大限のぼしててくれる高校が通学可能な範囲にありながら、学区の境があるために受検できないと、いう不条理をできるだけ解消し、生徒が学びたい学校で充実した高校生活を送ることがができるようにするためのものである、と同時に生徒にとつて多様な選択肢を確保するとともに、魅力ある学校づくりをさらに推進・発展させるためです。新通学区域の導入は、

まず、学区改変について現行16ある県内の学区が平成27年度から5つの学区に再編されます。淡路学区は、神戸第一・芦屋、神戸第二、神戸第三、学区と一緒になり、この地域にある普通科(単位制)と総合学科も複数志願選抜実施校に加わり、新第一学区の学校数は全部で26校となります。複数志願選抜の導入により2校(第1志望校と第2志望校)を志願できるようになります。第1志望だけを志願することもできます。

2校志願できると言つても、2回学力検査を受けると言うことではありません。学力検査は単独選抜と同様に3月に1回受検するだけです。受検者は出願時に願書に第1志望校と第2志望校を書き、第1志望校の高校に提出します。

②点数が、各校の募集定員数内の順位であれば、総合判定を経てその高等学校へ合格となります。

学びたい学校があれば、近くても、遠くとも、行けるようになる、そして、その学校へ入学したいと思う意欲を支援するというのが、通学区域の拡大と複数志願選抜制度の導入です。しかし、あくまでも基本は県立高等学校が地域の学校として、地域の子供たちをしっかりと受け入れ、伸びていくと言うことになります。

定されます。) 合否の判定は、調査書の学習評定と学力検査の成績を合わせた総合得点(素点)が基本となります。合否の判定方法は、次の①、②によつて判定します。①各高等学校において、第1志望者は素点に一定の第1志望加算点(新第一学区では25点)を加えた点数で、第2志望者は素点の点数で、すべての受検生の点数を順に並べます。

恩師からのおメッセージ

真夜中の軍歌



桜井 節哉

(洲本中学46期)

思い出すのは、桜を見ながらの入学式。今思えば、一年生の時は普通通りに授業が行われていたが、軍事的教育が多かったように思う。二年生に進級するや、授業は、二、三時間で校外活動が多くなる。

まず、由良の町から要塞に通じる道路整備。出征軍人のご家庭に稲刈り奉仕。ご年配のご夫婦が涙を流して喜ばれ飛行場が出来たが、正式な飛行場名が決まっていないので、土地の人は「棟列飛行場」と呼んでいた。私達は現地集合で、九時より与えられた土方的な作業に汗を流す。又、飛行機の燃料を確保するため、慶野松原に横三十米、縦三米、深さ二、五メートルのドラム管を入れる保管庫を掘る。砂浜なので誠に苦戦をした。

三年生にして、明石の川崎航空機株式会社に一年間、学徒動員として参加。宿舎は、玉津村の玉津寮。ここには、近畿各地の中学校、約三十校の学徒動員が宿泊していた。午前八時、午後四時、

午前零時の三交代制勤務で働いていた。玉津寮から会社までの四キロの道のりを、真夜中に大声で軍歌を歌いながら行進していたことが想い出深い。明石駅から西方面の川崎の会社までの約二キロあまりは、すべて焼け野原となり、進行していったことを思い出深い。

残っていたところに爆撃の爪跡が残っていた。その頃の空襲は、おそらく心理作戦で、夜は約二時間ごとに敵機が来襲していた。一時でも早く避難できるよう、みんな靴を履いたまま就寝していた。しかし、

明石の大空襲と同時に会社も全滅。学徒動員が解除された。帰校した後も、由良要塞の司令官の指導で、「日本は負けない」と力強く叫び、米兵上陸に備え、藁人形を槍でついていた。しかし、その日が八月十五日であった。

終戦後、幸運にも五年生に進級でき、その後教職につくことが出来、母校の教壇に立ったことは誠に感慨深い。洲

平成25年度洲高東京支部活動概要報告

1 役員会 2月・3月・5月・7月・9月・10月の計6回開催

会報作成会議、総会・懇親会開催準備会議、総会での講演者の依頼選定、会計監査審議会、総会・懇親会に向け司令官の指導で、「日本は負けない」と力強く叫び、米兵上陸に備え、藁人形を槍でついていた。しかし、その日が八月十五日であった。

終戦後、幸運にも五年生に進級でき、その後教職につくことが出来、母校の教壇に立ったことは誠に感慨深い。洲中のように命を落としている。洲高生不思議ではなかつたのだから。集団的自衛権などと、時代に逆行するような悪法がまかり通ろうとしている。洲高生諸君。洲高OB生諸君。母校で培つた健全な精神で、今一度

主幹教諭斎藤司さんのカンパイで始まり皆さんのが近況報告をうけ、踊りました。最後に第13期生、佐和孝太郎さんのバンザイで終り、第15期生の細川良美さんより来

年定時制の集いは5月第3日曜日を予定しておりますと

また木林秀雄教頭先生より説明があり、又来年も元気で

会いましょうで閉会しました。

（通信員 片岡）



主幹教諭斎藤司さんのカンパイで始まり皆さんのが近況報告をうけ、踊りました。最後に第13期生、佐和孝太郎さんのバンザイで終り、第15期生の細川良美さんより来年定時制の集いは5月第3日曜日を予定しておりますと

また木林秀雄教頭先生より説明があり、又来年も元気で

会いましょうで閉会しました。

（通信員 片岡）

主幹教諭斎藤司さんのカンパイで始まり皆さんのが近況報告をうけ、踊りました。最後に第13期生、佐和孝太郎さんのバンザイで終り、第15期生の細川良美さんより来年定時制の集いは5月第3日曜日を予定しておりますと

また木林秀雄教頭先生より説明があり、又来年も元気で

皆さんはどうぞ未来の事をイメージしていますか？私は高校の時は正直全くイメージしていませんでした。自分がこれだけの仕事や出会いを運命的にいただけるとは思つていなかつたから：。小中学生のころはとにかく引きこもりで自分に自信のないこどもでした。それがこの洲本高校に入つてから私の人生が180度変わつたのです。それはこの場所には「友情・遊び・学び・希望」全てがつまつていたから。人は誰でも成長できます。自分の力で。自分と向き合うことなどが大切、人と比べてはいけません。時にはライバルも必要ですが…。

私が社会に出て実感してい る事は「自分はできる」という根拠のない自信をもつ事（思い込みつて怖いもので：）と、まず心の壁を越える事が大事という事。そして楽しむ事。失敗しても良いからとにかく行動。若いうちはいくらでも失敗できる。行動を起 こすには心配や不安はもちろ

お仕事を通じてたくさんのお会いがありました。家族だけでなく、親身になって怒つてくれる人、悲しんでくれる人、一緒に喜んでくれる人がいます。私の周りの全ての方々に常に感謝し、その人を喜ばせたいという気持ちがあれば頑張れます。すべては感謝の気持ちからはじまると思っています。

皆さんはどうぞ未来の事をイメージしていませんか？私は高校の時は正直全くイメージしていませんでした。自分がこれだけの仕事や出会いを運命的にいただけるとは思つていなかつたから…。小中学生のころはとにかく引きこもりで自分に自信のないこどもでした。それがこの洲本高校に入つてから私の人生が180度変わつたのです。それはこの場所には「友情・遊び・学び・希望」全てがつまつっていたから。人は誰でも成長できます。自分の力で。自分と向き合う

すべては感謝の気持ちから

アーティスト
清川あさみ

(高50期)



▶清川さんと藤堂さんからいだいた2枚の色紙。似顔絵は、藤堂さんが描き、それぞれサインをして下さった。

高校時代、僕はボート部で人を笑かし驚かす事に情熱を傾けました。彼女は美術部で美大を受験するため1人で大阪の予備校に通い周囲の超強烈な浪人生に負けないため個性を磨いたそうです。洲本高校という自由な校風が僕たちの想像力を培ってくれたのです。講演の中で僕が最も共感出来た話に「夢を持った事がな

直ぐな可愛い女子がいるなあとそんな印象でした)
いまや飛ぶ鳥を落とす勢いの清川さんと運良く漫画がドラマ化され来年にも映画化を控えている自称売れっ子の僕を対談させようという洲本高校の粋な計らいだつたのでした。講演のタイトルは『未来の作り方』お互いの作品を解

アーティスト清川あさみ んから「対談やらんかあ」とお電話頂いたのは4月の末だつたでしようか。何の話かと訊きましたがよくよく聞くと洲本高校創立記念講演のお話をでした。えらい大舞台に何でこのちやらんぱらんな僕を?と思いましたが、理由はあります。僕と清川あさみさんは同じ第50回生の同窓生なのであります。(とはいっても高校時代は話した事はなく視線の真つ直ぐな可愛い女子がいるなあ

そして清川あさみさんに最大のエールを。（つっても僕たちはまだ30代半ば、まだまだ未来を作っている最中なのですが！）

18年前、広田のど田舎で個性を磨いていた少女と由良の漁師町で必死に漫画を書いていた少年が卒業した洲本高校での頃の僕たちに似た生徒達の前で講演を行う。道は違えど同じ生き方を語らう素晴らしい体験をさせて頂きました。いまここで改めてお礼を言わせて頂きます。

い」ということがありました。夢は所詮夢。漠然としたものに幻想を抱き、それに向かつて生きるほど効率の悪いものはないと思います。夢のために生きるのでなく今自分が没頭できる面白いと思った事の延長線上にこそ未来がある。

ひとつひとつ今できることに真剣に取り組み、愉しみ、形にしていく。未来は今から創りだす。だからこそ夢は叶うのだと思ひます。

活躍する同窓生の姿

未来は今から創りだす

漫画家
藤堂

(高50期)

平成25年12月11日、ホテルアナガで開催し、参加者は男子43人、女子15人、計58人の元気な老人会?東京方面の同期会が数日前に開かれ、十数人の参加があった。その報告と乾杯で当会がスタート。多勢の物故者(140数名)の冥福を祈り、献杯を重ね、高校、中学時代の思い出話。卒業後の活躍や、いろいろな思い出に花を咲かせ、歎談のうちに、校歌・応援歌、淡路高女の校歌も共に合唱。

「定命論」と「その時」が来るまで「生かされていることに感謝しながら、人のため、世のため、何か少しでもお役に立てれば」の思いで、体調を整えて、活きていくこう。老齢期の注意事項は、特に、肺がんに留意。「免疫力」を強め、食事に気をつけ、減塩対策。歯のケア。食物は「よく噛んで」・「ゆっくりのみこむ」毎日、この注意事項を留意、実行して、今後も、とき折り同期の会を催して「共に活力を分かち合おう。」久し振りの淡路の空気、風



景を賞味して、観光淡路、環境淡路の文化に接し、「故郷の力」を再認識、感動とともに「再会を約した。」

(文責 喜田剛史)

ビバ!! 同窓会 開催報告

洲高3期・併中1期

傘寿の同窓会から3年が過ぎ、今年は大阪梅田の新阪急ホテルで開かれた。

約300名のご案内に対し40名(男子16名・女子24名)の参加であった。

欠席返信の近況をみると、通院中とか、足腰が不自由などと、どこか病んでいる。故障者が多い年となつたんだとつくづく思う。

前回開催から3年がたち、現在わかつてているだけでも15名(男子13名・女子2名)の物故者が生じている。

わずか2時間程であつたが近況報告や、昔話に花が咲き楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

高女の校歌・洲高の校歌を声高らかに合唱し、次回会うまで健康に留意し、良き年を重ねようと万歳三唱で誓い合

平成25年11月28日淡路夢泉景にて傘寿記念の同期会を開催しました。

私達の学年は学友を含む卒業生270名の内、既に鬼籍に入られた友の数も55名を数え又、

配偶者や自分自身が健康を損ねているものが多くなる中で、北は埼玉県、南は広島県などから男女それぞれ30名あって、合計60名の出席を得て盛大に開かれました。

洲高5期 (昭和28年3月卒) 戌亥会傘寿記念同期会開催



いお開きとなつた。お世話を生き抜き天寿を全うしようとかから感謝申し上げます。

(記 島田 晓)

尚、今回の同期会で全学年を対象とする従来の大掛かりな淡路、神戸、大阪持ち回りの開催は休止することが決定されました。

今後は時に応じ、少人数での簡単な食事会的雰囲気でのスタイルで交流を続けて頂く事を確認して閉会となりました。

(文責 幹事 三澤泰士)



洲中48期・高女43期・洲高2期

合 同 同 窓 会

洲高3期・併中1期

開 催 報 告

童心に返り旧交を温め、あつていう間の3時間余りが過ぎ名残を惜しみながら、それで益々厳しさが増すであろう

がらご互い余す人生を力一杯生き抜き天寿を全うしようと呼びかけながら解散しました。

オイに逆らう傘寿の会

洲高第6期生の私達は、卒業60周年、傘寿を迎えた節目に、当たる、本年（平成26）5月12日第11回目となる同窓会を開催いたしました。

会場はホテルニューアワジ（洲本市）に、恩師の鈴木孝先生をお招きして、参加同級生8名を数えました。

スポーツに、勉学に、活躍した、昭和29年卒業の往時の勢いそのままの集いとなり、4時間の会はアツと云う間。「又やれ」の声も出る中、寂寥感漂う内に散会いたしました。萬歳！



(世話人代表 松谷泰行)

した。さて我々の同窓会ですがもう74～75才ともなれば、3年前に会った時から随分体型（多少の腰曲がり……）頭の毛の真っ白さ、耳の遠さなどいろいろと老けているのが一目瞭然と解る人が多くなつてきいていた。会場内は10人掛け（男女混合）テーブル9つ、乾杯が終わるや否やあちこちのテーブルに向かつていつての仲の良かつた者同士の「やア お久しぶり、お元気そうネ」とか和氣あいあいで時の過ぎるのもわすれ、3時間弱楽しく歓談しました。懐かしさ、思い出いつぱいつめて家路に向かう人、2次会、3次会へと向かう人等有意義な同窓会でした。

(一) 収田吉

立花君の音頭による乾杯の後、思い思いにテーブル毎に、また各々入り乱れての杯やり取りに、洲高時代の思い出から、身のメンテナンス法、東京五輪を元気で観ようまで話しても話しても話題は尽きず。久々の再会に気色満面。地元の幸に舌鼓打ちつつ、喋るほどに酔うほどに、珠玉の時間が瞬く間に過ぎてゆきました。ちゃんと付けが飛び交い、好きなあの女の(こ)憧れの男(こ)の名も乱れ飛びました。

ところで、12期生の同窓会が三年毎に開催されるのは、献身的にお世話をいただく同級生諸姉の存在あらばこそと、こ



ここに感謝の意を表します。
さて、そろそろ宴が佳境に入る頃、フリースピーチ。徳山君はT君への想いを、白崖君は趣味のゴルフを、初参加の榎本君は洲高入学時の話を心を込めて語ってくれました。天野君の技術を駆使してのプロ顔負けの手品で宴はさらりと盛り上りました。

クライマックスは林君の指揮による校歌斉唱とワンドースの歌”今日の日はさよなら”的の大合唱。唄うほどにいつまでも繕つよき友らとの名残はつきません。

岩熊君の音頭による万歳三唱の後、次回の開催地へとバトンは引き継がれました。

アンチエイジングの特効薬は、友に逢うこと、人に会うこと。同窓会は脳の海馬をほどよく刺激してくれるものとつくづく思いながら、余韻をまといつつ、3年後の再会を約束してしばしの別れとなりました。（文責 島田英樹）

ワンドースお花見会（4月第1土曜）は平成11年から毎年開催。神戸・大阪・京都・奈良・洲本の持ち回りで第16回目の今年は洲本担当。4月5日（土）三熊山→夢海遊で開催し参加者は50名。詳しくは、定期同窓会・花見会のHP『洲高ワンドース』で検索してください。

平成26年6月8日、ウエスティンホテル淡路で古稀を機会の同窓会を開催しました。

折から淡路島は農繁期の真っ最中、農家と無縁の世話を人たちがそれに気付かずこの日を選んだために、島内在住者の出席が予定を下回ったのが最も反省すべき点となりました。が、米国からの出席も男性32名、女性24名が集いました。

55歳からほぼ3年おきに開催する同窓会は、亡くなられた方のご冥福を祈つて黙祷を捧げた後、校歌斉唱で開会です。

最初こそ顔と名前が一致しなかつた方も、自己紹介を聞くうちに昔の面影が浮かんできました。

洲高15期

ワンドースお花見会（4月第1土曜）は平成11年から毎年開催。神戸・大阪・京都・奈良・洲本の持ち回りで第16回目の今年は洲本担当。4月5日（土）三熊山～夢海游で開催し参加者は50名。詳しくは、定期同窓会・花見会のHP『洲高ワンドース』で検索してください。



変貌された方にも、卒業後50年は公平に経過したに違いないのに、と感慨にふける間もなく、在校当時の思い出話や現状報告など話題は尽きず、懇親会は大いに盛り上がった結果、フリー・ドリンクにするかどうかの悩みは無意味だつたと判明し、皆さんがあ頼もしく見えたのであります。

今回は特に交流の場を長くしたいと考え時間をゆつたり組みましたが、それでもまだ話し足らずに名残惜しく思いつつ、最後に応援歌を力強く歌い上げ閉会となりました。

3年後は今回参加の方に加えてさらに多くの方々と再会したいものと願っています。なお、阪神方面からの参加



平成26年1月2日、タイム
アフタータイムにて、前回から
は11年ぶりの同窓会を開催いたし
ました。できるだけたくさん
集まつてほしい、盛り上
がるといいなという願いのも
と、木下先生・矢尾田先生・北
谷先生・稻永先生の4名の恩
師をお迎えし73名の同窓生が
集合しました。

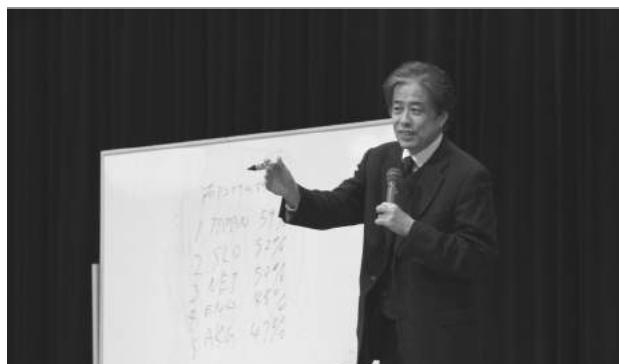
洲高37期

者約30名が全員同じ路線バスに乗車でくるよう、JRバスをさんが往復とともに臨時バスを配慮下さったことには感謝感激でした。

最近は、何事も一人ではできることを痛感する感謝の日々、皆さんありがとうございます。（記 高谷順子）



かりました。宴の締めくくり
は、校歌、洲高第2応援歌
(作詞・阿久悠氏、作曲・鍛陸
彦先生)をみんなで元気いっ
ぱい合唱。鈴木孝先生の万歳
三唱で宴を閉じました。この
ところ、参加者が減少気味の
こともあり、次回はお互いい声
を掛け合つて出席者を増やし
ましようと約束して解散。次
回は幹事は、大石壽々子・北
原文夫先生が引き受けてくれ
ることになりました。多くの
方々の参加を期待しています。



輝基基金 活動報告

メモ 「輝き基金」とは、第84回選抜高等学校野球大会での寄付を、生徒のために有効に運用するために設けられたもの。

輝き基金講演会 開催 =2013.12.18(洲高体育馆)

「人生の決断に遭遇した時にどう行動するか」
スポーツ・ジャーナリスト 二宮 清純 氏



平成26年度 同窓会総会 講演会より

一〇一四年六月二十二日(日) 洲本市文化体育館

和とセントの関わり

明石海峡大橋から東日本大震災

岩手大学工学部社会環境工学科 教授 羽原 俊祐
(高27期)

羽原俊祐

羽原俊祐氏は昭和5年（洲高27期）の卒業であり、現在、岩手大学のコンクリート研究室

本高校同窓会総会の特別講演では、羽原氏のこれまでのセメント工事との関わりを自分史として講演された。氏は両親や先祖も代々淡路島生れで、根っからの淡路島育ちである。高校時代、1973年才オイルショックでエネルギー消費の多い消費材が買占めにより、高騰した。氏の自宅の改築にあたり、2か月ぐらいでセメントの価格が6倍にあがつたことが、氏のセメントに高い関心を持った大きなきっかけのことであつた。大学卒業後、セメント会社の研究所に26年間勤務し、その後大学に転身する。会社時代、氏は低熱セメントの開発に関係する。明石海峡大橋工事は、3ルートのほかの橋梁で使われた同量のコンクリートが使用された大工事である。コンクリートの内部はセメントの化学反応により発する熱で、コンクリートそのものが高い温度になり、内部と外部の温度差のため、亀裂が入り、耐久性を損ねる。明石海峡大橋工事ではこれを克服するため、発熱量が少なく、強度が出るセメントが開発され、実用化された。これ

者の95%が津波による溺死であつたこと、被災した町々の状況を震災前後で比較して説明された。その中で、和村村長の不斷の努力により十分な防潮堤・水門を設置した普代村は一人の犠牲者もでなかつたこと、洲高卒業の作詩家阿久悠が、陸前高田高校に贈つた誌の記念碑と被災状況、高田や高田高校が洲本や洲本高校の配置が似ており、氏が高田高校の校庭に立つた折に、「もしも洲本に、津波がきたら」と思いだしたことなどが話された。

最後に、災害から生き残り、犠牲者を少なくするためには、警察・自衛隊などによる公助だけでなく、自助や地域社会の人たちが互いに助け合う共助が重要なことを話された。

た仕事はない。続けた仕事が「あつて」いるなど数々の重みのあるお言葉に、生徒たちは真剣な顔で聞き入つておりました。また社内を案内していただき、社長のイスにも何人かが座らせていただきました。

午後からは早稲田大学へ行き、夜は同窓会東京支部の方々との懇親会がありました。仕事内容やりがいや東京での生活のことなど、生徒たちの質問に丁寧に答えていただき、ありがとうございました。

二日目の午前中は東京大学の地震研究所で研修しました。地震シミュレーションがスーパーコンピュータの利用で非常に進んでいる実態を学びました。午後は文型と理型に分かれて行動

機構（JAXA）を訪問しました。JAXAでは、人工衛星の実物や宇宙飛行士の選考で用いられる閉鎖施設などを見学しました。最先端技術に触れ、生徒たちはいたく感銘を受けたようです。このように政治・経済・文化の中心地である東京を体感し、様々な仕事や生きがいがあることを生徒たちは学ぶことができました。貴重な機会を賜りましたことを、厚くお礼申し上げます。



（記 石田 宏記）



未来探究東京ツアーゲームのご報告

(記 石田 宏記)

洲本高校として三回目となる「未来探求東京ツアーワーク」が、8月5日から7日にかけて実施されました。二年生の総合探求類型生徒22名が、東京の研究施設・企業・大学を訪問しました。多くの卒業生の方のご厚意・ご協力により無事終了しましたことを感謝申し上げます。

一日目は、株式会社メディセオを訪問しました。入口で社員の方々による温かい出迎え受付では大きな看板でお出迎えをいただき、その後、「仕事の内容」「東京の良さ」などについて話を伺いました。渡辺秀一社長（洲高23期生）からはビデオレターで話しお話をいただきました。「自分を過小評価しない」「自分こもつ

E T R O）に伺いました。弁護士の浜辺美佳子氏（洲高52期生）の案内で裁判を傍聴、その後、浜辺様のお話を拝聴しました。裁判の仕組みや浜辺様が「弱者を助けたい」と弁護士になつたことなどを伺いました。また、J E T R Oでは、藪恭兵氏（洲高58期生）を始め、七人の職員の方が次々と「J E T R Oについて」や「自分の進路をどのように考えて今の職に就いたか」などを生き生きとお話ししていただきました。理型生徒は、東京大学に残り、オープンキャンパスに参加しました。

三日目は、宇宙航空研究開発

部活動報告①



二人の息はピッタリです。女子ダブルスカルのレースを終えた吉田茉世さんと吉岡良子さん=河口湖漕艇場

ボート部

第12回 全日本ジュニアボート選手権大会

平成26年6月6日～8日

於：熊本県菊池市斑蛇口湖ボート場

シングルスカル 吉田 茉世・吉岡 良子・柏木 裕葵
大植 悠太・井壼 大地

平成26年度 全国高等学校総合体育大会ボート競技

平成26年7月30日～8月3日

於：山梨県 河口湖漕艇場

女子ダブルスカル 吉田 茉世・吉岡 良子
男子ダブルスカル 柏木 裕葵・大植 悠太
男子舵手付クオドルブル 浅野 佑紀・井壼 大地・
中村 魁・片山 太貴・
賀本 鳩剣

第69回 国民体育大会「長崎がんばらんば国体」

平成26年10月18日～21日

於：長崎県片上湾ボート場

女子ダブルスカル 吉田 茉世
男子ダブルスカル 柏木 裕葵・大植 悠太

「僕らの青春の集大成。支えてくれたすべての人に感謝。」

部長 賀本 鳩剣

水泳部



チームワークはどこにも負けません。今年大活躍の女子水泳部員たち。ガッツポーズでにっこりと。

第68回 近畿高等学校選手権水泳競技大会

平成26年7月22日～24日

於：和歌山県秋葉山公園県民水泳場

400mリレー 清水絵梨香・松岡 弥玖
山下 詩乃・田村茉莉花

400m自由形・800m自由形 清水絵梨香
50m自由形・100m自由形 松岡 弥玖

※ 松岡さんは、100m自由形で、参加標準記録突破により全国大会出場

※ 50m自由形では6位入賞

平成26年度 全国高等学校総合体育大会

－煌めく青春 南関東総体 2014－ 水泳競技大会

平成26年8月19日(火)

於：千葉県国際総合水泳場

100m自由形 松岡 弥玖

第69回 国民体育大会「長崎がんばらんば国体」

水泳競技大会

平成26年9月12日～14日

於：長崎市民総合プール

競泳競技 兵庫県代表選手として出場

少年女子A 50m自由形 松岡 弥玖
400mリレー



インターハイ、そして国体の出場を果たした松岡弥玖さん

部活動報告②

陸上競技部



男女で淡路記録を更新した笑顔の陸上部員たち。

第67回 兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会

平成26年5月30日～6月1日
於：ユニバー記念競技場

女子4×100mR 横山 加奈・笹田ひかる・増井 千恵・
池上ひなの タイム 48秒76
(淡路記録を更新)

第67回 全国高等学校陸上競技対校選手権大会 近畿地区予選会

平成26年6月19日～22日
於：京都府西京極陸上競技場

男子4×100mR 川 和克・藤田 瞬也・西岡 知希・
犬持 智 タイム 41秒79
(淡路記録を2年連続で更新)

女子円盤投げ 桑田つみき 34m96

第47回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

平成26年9月19日～20日
於：大阪 長居陸上競技場

女子やり投げ 川崎 千穂
女子円盤投げ 桑田つみき
女子4×100mR 沼田 梨花・増井 千恵・池上ひなの
横山 加奈・土井 優歌・川崎 千穂

放送部

第61回 NHK全国高等学校放送コンテスト全国大会

平成26年7月24日
於：東京 NHKホール

テレビドキュメント部門 入選
「でも、駆け抜ける」

第38回 全国高等学校総合文化祭（いばらき総文）

平成26年7月31日
於：茨城県日立シビックセンター

ビデオメッセージ部門 出場
「ReaL」

「県大会や地区大会では見られないレベルの高い作品がそろっており、準決勝、決勝とすすむにつれ、更に高いレベルの作品に触れ全国大会の壁の高さを感じました。今年は先輩に連れていっていただきましたが、来年は、自分たちの作品で全国へ行って勝ち進んでいきたいと思います。」

部長 小林 文



「やりました。やりました。洲本高校今年も入選です！」まるで
大会マスコット「めでCo」が実況放送してくれているかのよう
な記念撮影=東京NHKホール



他校のすばらしさを目のあたりにし、一皮むけた邦楽部員たち。
更なるレベルアップを心に誓って！

邦楽部

第38回 全国高等学校総合文化祭（いばらき総文）

日本音楽部門

平成26年7月30日～31日
於：茨城県 牛久市中央生涯学習センター
文化連盟賞 曲目「平城山 スケルツォ」

「全国大会に出場して、会場での他の学校のきびきびとした行動や、礼儀正しい態度、はきはきとした挨拶など、演奏だけでなく、生活態度のすばらしさを学びました。淡路島という小さな世界を出て、全国という大きな世界へこれから進んでいく私たちにとって、とてもいい経験ができたと思います。」

部長 椎木 悠加

平成24~26年卒

進路状況

(現役合格数)

1. 国立大学

大学名	26年	25年	24年
秋田大		1	
筑波大			1
金沢大			1
信州大	1		1
静岡大	1		2
三重大	2		
京都大	1		
京都教育大		1	
京都工芸繊維大	2	1	
大阪大	2	3	1
大阪教育大	2	3	
神戸大		3	4
兵庫教育大	3	2	2
奈良教育大		1	
鳥取大			1
島根大		1	
岡山大	2	4	3
広島大		1	1
徳島大	7	4	5
鳴門教育大	1	1	3
香川大	1	4	1
愛媛大	3	2	
高知大	3	1	
九州大			2
福岡教育大		1	
鹿児島大	1		
琉球大	1		
国立大合計	29	34	32

2. 公立大学

大学名	26年	25年	24年
国際教養大	1		
茨城県立医療大			1
首都大東京			1
金沢美術工芸大		1	
福井県立大	1		1
愛知県立大			1
滋賀県立大			1
京都府立医大			1
大阪市立大	2	2	2
大阪府立大		2	1
兵庫県立大	2	6	5
神戸市外大	1		1
鳥取環境大	1		
岡山県立大	1		2
尾道市立大	1		
県立広島大	1		1
福山市立大		1	
愛媛医療技術大	1	1	1
高知工科大		1	
北九州市立大			2
公立大合計	12	14	21

3. 私立大学

大学名	26年	25年	24年
酪農学園大		1	
城西大		1	
文京学院大	1		
青山学院大	1	1	2
学習院大		1	
慶応大			1
国士館大	1	1	
駒澤大	3		
順天堂大			2
上智大		1	
白百合女子大			1
多摩美大	1		
中央大	1		1
帝京大	1	1	
東海大		1	
東京造形大	1		
東京農大	1		
東京理大			2
東洋大	1		
武蔵野美大	2		
明治大	1	3	3

大学名 26年 25年 24年

立正大	2		
早稲田大	1	1	2
相模女子大			1
金沢工大	1		2
朝日大			1
金城学院大		1	
中京大			3
豊田工大	1		
名古屋経大	1		
日本福祉大	1		
皇學館大	1		
長浜バイオ大	1		
聖泉大		1	
京都外大	3	5	5
京都学園大	1		1
京都産業大	12	14	8
京都女子大	3	4	7
京都精華大		2	
京都造形芸大	3		
京都橘大	2	4	1
京都薬大			
京都光華女子大	1	1	
同志社大	5	6	6
同志社女子大	3	5	4
花園大		1	
佛教大	20	12	11
立命館大	11	22	17
龍谷大	19	5	20
大阪音大			
大阪学院大		1	
大阪経大	4	2	8
大阪芸大		2	
大阪工大	6	8	1
大阪国際大	3		1
大阪産大		3	2
大阪商大			1
大阪電気通信大		4	1
大阪薬大	2		
大阪大谷大	1	2	
関西大	17	24	20
関西外大	7	14	5
近畿大	42	32	36
四天王寺大	1	2	
摂南大			1
帝塚山学院大	1		
梅花女子大		1	
阪南大	1	1	
桃山学院大		1	
関西福祉科学大	1	2	
大阪人間科学大			1
羽衣国際大	1		
千里金蘭大			1
関西医療大	1	1	
大阪女学院大		1	
藍野大	1	2	
大阪保健医療大		1	
大和大	4		
芦屋大			1
大手前大	1		
関西学院大	10	18	24
甲南大	18	14	16
甲南女子大	7	3	2
神戸海星女子大	2	2	1
神戸学院大	15	18	6
神戸芸術工科大			1
神戸国際大	1		
神戸女学院大	2	2	3
神戸薬大	4		1
松蔭女子学院大	1	1	1
神戸親和女子大	7	3	4
園田学園女子大	5	1	
姫路獨協大	3		
兵庫大	3		
武庫川女子大	7	14	11
流通科学大	2	1	2
関西福祉大			1

大学名 26年 25年 24年

関西国際大	1	1	
関西看護医療大	4	1	1
兵庫医療大	3	3	6
神戸常盤大	2	4	4
宝塚医療大	3	1	1
帝塚山大	3		
天理大			1
奈良大			1
畿央大	13	8	1
高野山大		1	
岡山理科大	9	6	3
川崎医療福祉大		1	
吉備国際大		1	
倉敷芸術科学大		1	
くらしき作用大		1	
広島国際大	2	2	
四国大	2	1	1
徳島文理大	14	4	4
純真学園大	1		
私立大合計	362	319	284

学校名 26年 25年 24年

大阪医療福祉専門	1	2	
東洋医療専門		1	1
関西健康科学専門			1
関西総合リハ専門	3	1	
神戸総合医療専門	2	2	1
神戸東洋医療学院		1	
兵庫歯科学院専門			1
高知リハビリ専門			1
徳島歯科学院専門	1		
神戸ベルエベル専門	1		
神戸理容美容専門		1	
西日本アメーラカレッジ専門			1
関西美容専門			1
穴吹デザインピューティカレッジ専門	1		
神戸国際調理製菓		1	
神戸製菓専門	3	1	1
関西保育福祉専門		1	
京都製菓技術専門		1	
大阪調理製菓専門		1	
辻調理師専門		1	
日本調理製菓専門	1		
神戸電子専門		1	1
神戸動植物環境専門		1	
ビジュアルアーツ専門		1	
ホスピタリティーリズム専門		1	
大原スポーツ&保育専門	1	1	
大原簿記専門	1	3	2
大阪コミュニケーション専門			1
大阪ビジネスカレッジ専門			1
大阪ペビィ動物看護専門	1		
履正社医療スポーツ専門			1
専門学校合計	45	32	35

5. 短大

短大名 26年 25年 24年

倉敷市立短		1	
中日本自動車短		1	
大阪芸術大短大		1	
神戸女短	11	6	3
神戸常盤大短大	1		1
夙川学院短		2	
聖和短	1	1	
園田学園女大短		1	
武庫川女大短大	9	9	4
徳島文理大短大		1	
短大合計	22	20	11

6. 専門学校

学校名 26年 25年 24年

(株)京都医療センター附属京都看護専門学校		1	
大阪大学附属歯科技工専門	1		
大阪医療センター附属看護専門	1		
(株)大阪南医療センター附属看護専門	1	1	
(株)東徳島医療センター附属看護専門	3	1	1
(株)善通寺病院附看護専門	2		
柏原看護専門	1	1	
兵庫県立総合衛生学院専門	1		1
兵庫県立淡路看護専門		8	
愛媛病院付属看護		1	
横浜労災看護専門		1	
関西医科大学附属看護専門		1	
京都桂看護専門			1
社会福祉法人松原園関西看護専門	3		
近畿大学付属看護専門		1	
清恵会医療専門	1		
大阪済生中津看護専門	1		
大阪赤十字看護専門	1		
関西労災看護専門	1		1
関西医科大学附属看護専門		1	
関西医科大学附属看護専門		1	
京都看護専門		1	
西神看護専門	1		
相生市看護専門	1		
播磨看護専門		1	
姫路赤十字看護専門		2	
宝塚市立看護専門		1	
健康保険鳴門看護専門	2		
香川看護専門		1	
鳴門病院附属看護専門	1		
日本聴能言語福祉学院		1	
行岡医学技術専門	1		

7. 各種学校

学校名 26年 25年 24年

但馬技術大学校	1		
パンツンデザイン研究所	1		
学校計	2		
国家公務員合計			1
地方公務員合計			1
地方公務員合計	6	8	4
民間就職(島内)			
企業・事業所名	26年	25年	24年
東洋合成工業			1
ホテルニューアワジ			1
アルフレッサ(株)		1	
淡路日の出農業協同組合		1	
民間就職(島内)合計	2	1	1
民間就職(島外)			
企業・事業所名	26年	25年	24年
マスターズゴルフ俱楽部株式会社		1	
関西電力株式会社			1
新日鐵住金株式会社	1		
日本郵便株式会社		1	1
民間就職(島外)合計	2	2	1

平成25年度 収支決算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

総 収 入 額	6,357,947
総 支 出 額	4,633,914
差 引 額	1,724,033

一般会計

1. 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
前年度繰越金	2,264,930	2,264,930	0	
入会金	542,000	542,000	0	全員制 240名 定時制 24名
会費	3,157,000	3,118,160	△38,840	全員制 700名 2,800,000 定時制 25名 300,000 終身会費 10,000×1 18,160 3年会費 1,500×6 (振替口座手数料控除後) 総合計 3,118,160
雑収入	6,070	432,857	426,787	預金利息・会員名簿・寄付
合計	5,970,000	6,357,947	387,947	

2. 支出の部

(単位：円)

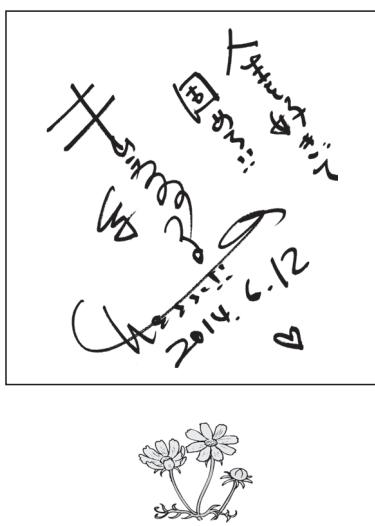
項目	予算額	決算額	増減額	備考
事業費	3,705,000	3,202,835	502,165	
会報	1,150,000	1,103,677	46,323	印刷代金・郵送費等
総会費	15,000	8,800	6,200	講師謝金・交通費・会場費等
定時制活動費	200,000	200,000	0	講師謝金・交通費・定時制歳時記等
支部活動費	100,000	100,000	0	東京支部へ
ホームページ委員会	100,000	65,688	34,312	ホームページ更新費用
期同窓会通信費	300,000	126,260	173,740	同期会通信費(期の同窓会通信費)
部活動振興費	600,000	533,000	67,000	全国大会・近畿大会 助成金等
報償費	200,000	200,000	0	お琴の先生謝礼金
卒業記念品	240,000	237,798	2,202	卒業証書ホルダー
C D制作費	450,000	360,000	90,000	校歌CD制作費3年に1回制作(入学生に贈呈)
慶弔費	100,000	104,272	△4,272	会員・生徒・職員慶弔費
その他	250,000	163,340	86,660	全日制創立記念講師謝金・交通費等PR作成費
会議費	180,000	142,900	37,100	役員・理事会等費用
旅費・交通費	150,000	100,000	50,000	東京支部総会へ参加等
事務費	710,000	637,229	72,771	
内通信費	50,000	20,315	29,685	切手・葉書・電話費等
事務用品	50,000	6,914	43,086	パソコン用品・印刷用紙・事務用品等
手当	560,000	560,000	0	事務職員手当
職員退職金引当金	50,000	50,000	0	事務職員退職金積み立て
施設・設備費	100,000	50,950	49,050	資料館整備費・栄光への記録等
記念事業基金	500,000	500,000	0	全日制・定時制周年事業等
雑費	30,000	0	30,000	
予備費	595,000	0	595,000	
合計	5,970,000	4,633,914	1,336,086	

上記の出納を検査し、正当かつ正確であることを認めます。

平成26年4月16日

監事 島田 晓
川端 通

7月11日にテレビ放映された「ぴったんこカンカン」の撮影で洲高を訪れたキムラ緑子さん(高32期・写真中央)と同期生たち。=6月12日



平成25年度 事業報告

- 5月9日 創立記念式(定期制) 洲本高校 集会室
講師 細川 未勝(定10)
演題 「3歩歩んで2歩後退」
- 5月10日 創立記念式(全日制) 洲本高校 体育館
講師 天羽 賢次氏(洲高29)
味の素(株)スポーツニュートリション部長
演題 「ロンドンオリンピック日本代表選手団の栄養支援活動」
- 5月16日 第1回広報役員会 洲本高校 応接室
- 5月30日 第1回常任理事会 洲本高校 応接室
- 6月22日 第1回理事会 あやぐもホール総会
- 7月30日 第2回広報委員会 洲本高校 応接室
- 8月29日 第2回常任理事会 洲本高校 応接室
- 10月1日 同窓会報発行
- 10月11日 第1回事業委員会 洲本高校 応接室
- 11月23日 東京支部総会 東京霞ヶ関
- 11月29日 第2回理事会 役員・理事ならびにOB職員懇親会
花季
- 12月18日 耀き基金講演会 洲本高校 体育館
講師 二宮 清純氏 スポーツジャーナリスト
演題 「人生の決断に遭遇した時にどう決断するか」
- 2月27日 66期生同窓会入会式 洲本高校 体育館

県立洲本高等学校同窓会会員のみなさまへ

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解と多大なるご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。さて、その多大なるご支援のうちの一つに、本校図書館の図書の充実があります。生徒たちが毎日授業等で利用している図書館の図書です。そこで、学校として多大の支援をしていただいている同窓会の皆さまに何か還元できることはないかと考えさせていただきました結果、7月1日から以下のようにさせていただきます。

洲本高等学校図書館の利用について

1 開館

曜日 平日(月曜日～金曜日)

時間 午前9時から午後5時

※学校行事により臨時に変更する場合があります。夏季休業中も、お盆の週一週間以外は開館しています。ただし、春季・冬季休業中は閉館です。

2 本の貸し出し・返却について

貸し出し冊数 一度に5冊まで

貸出期間 2週間(期限厳守でお願いします)

延長される場合は必ず連絡下さい。

貸し出し手続き 回生(卒業年)と氏名をカウンターに申し出て下さい。

返却手続き カウンターまたは、カウンター前の返却箱に入れて下さい。

平成二十六年度 定時制課程 同窓の集い(各分校含む)のご案内

議題	受付時	場所	日付
平成二十六年度事業・会計報告	午後四時より	開会	午後五時から
平成二十七年度事業・会計計画	平成二十七年度事業・会計計画	観光旅館 海月館	洲本市海岸通一丁目一〇〇
その他	その他	TEL	〇七九九一三一一一〇〇
☆総会参加者全員記念撮影(五時三十分) ☆懇親会(同じ会場にて六時より)	☆宿泊希望者	金費	一〇、〇〇〇円

☆総会参加者は十二月三十日までに左記へご連絡ください。詳しい案内状を送付します。

電話・FAX ○七九九一三一九七〇八
(定時制同窓会長 細川宅)

平成27年度 洲本高校同窓会総会のご案内

日 時 平成27年6月28日(日)

受 付 9:30
開 会 10:00
懇 親 会 12:00
(場所 タイムアフタータイム)

会 場 洲本市文化体育館1階会議室

洲本市塩屋1丁目1-17
TEL 0799-25-3321

詳細は5月にホームページでお知らせいたします。
ホームページアドレス www.sukou-dousoukai.com/

[洲本高校同窓会](#) [検索](#)

<寄付の報告と御礼>

洲高5期のみなさまより同窓会へ30,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。



平成26年度洲本高校同窓会東京支部 第10回 総会・懇親会開催のご案内

開催日時：平成26年11月22日(土)
受付：10:00 総会：11:00 懇親会：12:30

開催場所：東京霞ヶ関ビル35階「東海大学校友会館」

TEL：03-3581-0121

総会議事：平成25年度会計決算報告
平成26年度予算報告

講演会：講師 永田秀一(ながたひでいち)氏
演題 「永田秀次郎の生き方、考え方」
講師略歴 洲高14期(1962年卒)

慶應大学法学部政治学科卒、党県議団政務調査会長、県議会副議長(第112代)、県酪農議員連盟会長、県軟式少年野球協会会长、全国戦没学徒を追悼する会会长

講師の一語 永田家の墓地に「海晴れて松風清き丘の上に正しき者の墓と呼ばれむ」という青嵐の歌碑がある。海は晴れ渡り、風で松が揺れる丘の上で「ここに正しき者が眠っている」と言われる人になりたい。正しきものは、お金で買えない“財産”を後世に残す。政治と力で国民が政治家にうんざりしている今、「人間永田青嵐」から学ぶことは多いと思う。

懇親会：着席でテーブルを囲み、和洋バイキングとお飲み物で懐かしい洲高青春時代を思い出し、大いに飲み、語り楽しいひとときをみんなで過ごしましょう！

支部年会費：普通会員1,000円 維持会員3,000円

総会懇親会費：8,000円(平成21年以降の卒業で、首都圏に在学中の学生の方は、事前申込みで無料招待)

出欠の返事および会費振込みは、10月20日(月)までに

よろしくお願い申し上げます。

洲本高等学校同窓会 東京支部

支 部 長 松下 祐治(昭和40年) 副支 部 長 古池 建一(昭和40年)
副支 部 長 津田 喜人(昭和41年) 事務局長 正井 敏文(昭和43年)

参画出来るよう「洲高同窓会東京支部ホームページ」を平成23年から立ち上げております。
東京支部ホームページ URL <http://tokyosuko.jp/>
会員限定ページのID tky2010suko
会員限定ページのパスワード p8cjurce
是非アクセスして見て下さい。
このホームページで東京支部の活動案内等ご覧頂けると思います。
尚、東京在住の洲高同窓生の大勢の皆様からは年会費を振り込みます。そして毎年一回は東京霞ヶ関ビル35階会場にて総会と懇親会を開催し活発に活動しております。
是非とも東京支部総会に参加してみて下さい。初めての方大歓迎致します。
(洲高応接室)

入会の案内